

# 町制施行20周年記念式典開催！

(10年に一度の大事業は大成功？)

明和町町制施行20周年記念式典が、去る10月7日(日)に開催されました。この式典を行うにあたり、昨年のうちから着々と準備を進めてまいりました。

- 日程をどうするか？ (ほかの行事と重ならないように)
- お土産品をどうするか？ (三重県明和町とコラボした記念品を出したい)
- 予算をどうするか？ (予算は3月議会までに概算を出さなければいけない)
- 招待者の範囲は？ (多くの人にご参加いただきたい)
- 功労者表彰の範囲は？ (たくさんの功労者をお祝いしたい)
- 当日のプログラム内容は？ (共演いただく宗次郎さんの日程は？)  
(オープニングはどうする？)
- 駐車場は何台分必要か？
- どんな係が必要？ (職員を適材適所へ配置しスムーズに執り行えるように)

・・・など

考えるとキリがない程の事柄が次々と生まれてきます。前例のないこの事業は、町民の皆様がどうしたら喜んでくれるか？というコンセプトをもとに組み立てていきます。その中には、当日の天気など人間の力ではどうにも出来ない事柄もあります。

こんな時、私は決まってこう考えます。「全力で人事を尽くして全うできなかったことは、誰がやっても同じこと。自分に出来ないはずはない」と。凄い自信家ぶりですが、実はその考えのおかげで、眠れぬ夜をなんとか越せた経験が多々あります。今回も眠れぬ夜を過ごすと思っておりましたが、ほかのことで忙殺されていたため「ああだこうだ」と口を挟まず、課長以下業務に当たる職員に全てを任せて、覚悟を決めて式典に臨みました。

当日は、台風25号の影響により、気温が32.3度と10月としては暑い陽気でしたが、快晴ですばらしい青空のもと、約550名のお客様をお迎えして盛大に開催となりました。職員は、全員総出で式典にあたり、出席者の案内や接待等それぞれの業務をこなしました。

こうした職員の頑張りの結果、「10年に一度の大事業」を見事に成功させることができました。その出来映えは、町長の私から見ても「出来るじゃないか！普段はこの力を出し惜しみしているの？」と言いたくなるほど良くやってくれました。ほかの町のイベントと比べても一歩も引けを取らない程の出来栄えだったと思います。まさに「職員一同に感謝！」です。ご参加いただいた町民の皆様の評価は、いかななものでしょうか？

最後に、明和町町制施行20周年記念式典にて読みあげた式辞を掲載いたします。

## 明和町町制施行二十周年記念式典 式辞

本日ここに、町制施行二十周年の記念式典を挙行いたしましたところ、何かとご多用の中たくさんの方々にご出席を賜り厚く御礼申し上げます。また、ご来賓として大変お忙しい中、衆議院議員の笹川代議士をはじめ、平成十一年より国内交流を行っていません、三重県明和町の中井町長、そして各界の皆様方にご臨席を賜り心から厚く御礼申し上げます。

明和町は、前身である明和村の四十三年の歴史と明るく朗らかで平和なまちをつくろうという理想のもとに名付けられた「明和」の名前を引き継ぎ、平成十年十月一日に誕生いたしました。以来、着実に発展を遂げてまいりました。これも多くの先人の方々のたゆまぬご努力と、労苦の賜と心から感謝を申し上げます。

そして、明和町の南側には「坂東太郎」の名で親しまれた雄大な利根川がとうとうと流れ、輝く緑の大地と豊かな水で、町は発展し続けております。

町の東部地域は、農業が盛んな地域で、利根川の水がもたらした肥沃な大地が、古くから多くの恵みをおこの地に与え続けております。豊かな自然と溶け合うような緑の田園からは数々の作物が生み出されます。古くから良質として知られる明和の特産品の「梨」をはじめ、シクラメン、わい性カーネーション、ベゴニアといった花々が季節の折々に咲き誇っております。また、東北自動車道が南北に縦断し、館林インターチェンジから近いため、交通の利便性が高い地域となっております。

町の中部地域は、東武伊勢崎線川俣駅周辺を中心に開発が進み、首都圏まで約一時間という地の利を生かし、東京方面への通勤者が多く、まさに町の玄関口として発展しております。橋上駅舎や駅前プラザメイちゃん家をはじめ、役場庁舎、日本キャンパックホールなど、多くの公共施設があり、町内外を問わず、多くの人交流するにぎわいのある地域となっております。

町の西部地域は、明和町の中でも特に工業が盛んな地域で、明和工業団地をはじめ、多くの企業で、高品質の製品が次々に出荷されております。また、町の主要な路線である国道一二二号線が南北に縦断し、利根川河川敷には利根川総合運動場があり、多くの町民のスポーツと憩いの場となっております。そして自然環境に恵まれ、さらなる発展を望まれる地域となっております。

さて、高度成長期の昭和から平成の時代を経てこうした社会の成熟とともに、日本は少子高齢化を背景とした人口減少社会に入りました。このグローバル化した世界経済の中で、将来が見通しにくい時代を迎えております。こういった時代背景の中にあっても、経済が縮小することなく、活力や賑わいを持続させ、年齢や性別に関係なく、だれもが等しく輝ける社会、安全で安心なまち

づくりを実現して行かねばなりません。これからのまちづくりは、行政からの一方的なサービスや行財政の自然成長に頼るのではなく、官民連携からなる新しい価値観で町政運営を進め、まちのにぎわいを創出する必要があります。

そして現在まで、こういったまちづくりを一步ずつ進めてまいりました。町の財政基盤確立のため、依存財源に頼らず自主財源を確保するために、企業誘致を進め、明和工業団地、明和第二工業団地、明和第三工業団地、明和大輪西工業団地、そして明和大輪東工業団地の造成を行い、おかげさまで、日本キャンパック様、アドバンテスト様、凸版印刷様、日本基礎技術様、トーモク様といった優良企業に進出して戴いております。そして今後は、明和入ヶ谷南工業団地や、東部地域にも明和東部工業団地を造成し、さらなる企業誘致の推進を行ってまいります。

また、明和町においては、東北自動車道、東武伊勢崎線、国道一二二号線がそれぞれ南北に縦断しております。この三つの縦軸に横軸を加えて行くことが町の一層の発展の鍵になるものと考えております。その横軸となる道路整備事業といたしましては、八月に開通した工業団地線のほかにも、北側に矢島大輪線、南側に大佐貫大輪線を整備してまいります。そして、千代田町との経済創生連携協定により横軸はさらに先まで進展する見通しです。それに伴い、館林インターチェンジとを結ぶ道路も整備してまいります。こうして横軸をつなげることで、更なる交通の利点を生かしたまちづくりを加速いたします。

さらに川俣駅の周辺整備については、西口に商業施設を、東口に医療施設の整備を検討しております。整備にあたっては、民間資金の活用を考えており、国、県、町からの補助金のほかに、民

間企業等の出資や金融機関の融資による「まちづくり会社」を設立し、その「まちづくり会社」による開発を行ってまいります。

こうして企業進出、交通の利便性の向上、駅周辺の開発により、地元での就業機会の提供、地元での定住化、または大都市圏からの移住の促進を行い、にぎわいの創出へとつなげてまいります。

そして町の発展においては、子育ての充実や健康寿命の延伸も不可欠なものとなってまいります。老朽化した東西の学童保育所をふれあいセンターとして建て直し、学童保育所としてだけでなく多世代交流の場としても町民の皆様にご活用していただいております。加えてこのふれあいセンターへは、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士といった専門員を配置しており、地域の巡回を行いながら、より密接に地域のニーズに応え、地域の現状をいち早く察知できるような見守り活動も行っております。

これからも、福祉、医療、子育てといった基本施策にしっかり取り組みながら、魅力あるまちづくりを進め、将来への投資を着実に行って、地域の人たちにとっての住み良さ、他にない魅力づくりをめざしていき、更なる飛躍につなげてまいりますので、皆様におかれましては、変わらぬお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

さて、本日はそれぞれの分野で町の発展に大きく寄与された町民の皆様をお祝いし、町の発展に多大な貢献をされました功労者の表彰させていただきます。

そして、第二部では、「あなたの夢をかなえます事業」といたしまして、オカリナ奏者「宗次郎」さんとの共演をお楽しみいただき、二十周年の記念の日を祝いたいと思います。

結びに、これまでの多くの先人や皆様方のたゆまぬご努力と、お力添えに深甚なる敬意を申し上げ、明和町の益々の弥栄と町民各位並びに本日ご参会の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

平成三十年十月七日

明和町長 富塚 基輔



平成30年10月12日

明和町長 富塚もとすけ